

令和5年度 岩城小学校 学校関係者評価集計表

結果 : 4=あてはまる 3=おおむねあてはまる 2=どちらかといえばあてはまらない 1=あてはまらない

2024年1月25日

評定 : A=対象の80%以上が肯定 B=対象の70%以上が肯定 C=対象の60%以上が肯定 D=対象の60%未満が肯定

項目	評価指標	評価資料	アンケート結果(%)					評定	・評価の分析、考察 ○改善策	今後の改善の方策 (学校関係者評価委員会)
			4	3	2	1	無			
教育目標	「夢に向かってともに励む児童の育成」の達成に向けて、具体的に教育改善している。	教職員	41	50	9	0	0	A	・教育目標の達成に向けて、具体的な取組を話し合い実践していく。	
		児童								
		保護者	29	52	5	0	14			
		地域住民	57	43	0	0	0			
学力・学習習慣	確かな学力の定着が定着している。	教職員	18	64	18	0	0	A	・1割から2割が、学習に不安を感じている。 ・宿題を提出したり、各学年の家庭学習の目標時間(学年+10分)を達成したりしている児童が多い。	【読書について】 ・読書への興味付けが大事。マンガや電子書籍でもなんでもよいので本が好きになることが、習慣化につながる。 ・親子で読書をする時間を持つとよい。 ・他県の学校での取組も参考にするとよい。 ・新入児体験入学のときに、1年生が読み聞かせをしてくれ、喜んでた。図書室も明るい。
		児童	41	49	8	2	0			
		保護者	29	57	9	2	3			
		地域住民	57	43	0	0	0			
	望ましい学習習慣・学習態度(家庭学習も含む)を育成している。	教職員	18	64	18	0	0	A	○朝ドリルや補習の時間を充実させ、一人一人に合った学習ができるように工夫する。 ○特別支援教育の視点から個に応じた指導について研修し、分かる授業に努める。 ○本年度から、児童が家庭で学習し易いように、また、間違いの直しがしっかりできるように、国語科や算数科の問題集を変更した。家庭の様子を聞きながら児童の指導に当たる。	
		児童	66	20	11	3	0			
		保護者	22	48	20	5	5			
		地域住民								
	児童は、発表の仕方が身に付いている。	教職員	18	73	9	0	0	B	・発表についての児童の肯定的な意見が増えている。引き続き、表現朝会や全校集会での感想発表、縦割り班での話し合いなど、発表の機会を設ける。	
		児童	50	27	18	5	0			
		保護者	21	42	30	5	2			
		地域住民								
児童は、読書に親しんでいる。	教職員	22	56	22	0	0	C	○読書についての教職員と児童の肯定的な意見が増えた。学校司書からも、児童一人一人がお勧めの本があることは素晴らしいと褒めてもらった。本年度から読書の時間を増やした。今後も、読み聞かせボランティア、学校司書と連携しながら、引き続き力を入れる。		
	児童	40	24	27	9	0				
	保護者	23	16	38	23	0				
	地域住民									
学習指導	指導法や指導体制の工夫・改善に努め、分かる授業づくりに取り組んでいる。	教職員	73	27	0	0	0	A	・授業が分かりやすいという児童が増えた。今後も、一人一人の理解を見取りながら分かる授業に努める。	
		児童	90	8	2	0	0			
		保護者	48	46	0	2	4			
		地域住民	57	36	0	0	7			
学習の充実のために、自然・文化・人など、地域の特色を生かしている。	教職員	54	46	0	0	0	A	・本年度も、地域の方のご協力のおかげで、様々な体験や学びの機会に恵まれた。		
	児童	60	23	13	4	0				
	保護者	54	41	5	0	0				
	地域住民	79	21	0	0	0				
心の教育	望ましい人間関係づくりができてきている。	教職員	60	40	0	0	0	A	・縦割り班活動だけでなく、休み時間も、学年に関係なく遊んでいる。相手のことを思いやった言動も多い。 ○自分が大切にされていることが実感できるような道徳教育を工夫する。また、学年の発達段階に応じた人権・同和教育を実践していく。	
		児童	85	15	0	0	0			
		保護者	45	45	4	1	5			
	児童が命の大切さを実感できる教育の充実が図れている。	教職員	40	60	0	0	0	A		
		児童	84	14	1	1	0			
		保護者								
人権・同和教育を計画的に実践している。	教職員	45	55	0	0	0	A			
	児童									
	保護者	57	34	9	0	0				
学校体育	体育の時間や遊びなどを通して、体力づくりを進めている。	教職員	78	22	0	0	0	A	・休み時間は、多くの児童が外遊びをしている。課外活動でも熱心に運動に励んでいる。	
		児童	70	20	10	0	0			
		保護者	63	32	3	0	2			
		地域住民								
特別活動	学校行事等は、創意工夫を生かし、充実している。	教職員	82	18	0	0	0	A	・人権集会での縦割り班での話し合いでは、保護者も参加していただき、充実した活動になった。	
		児童								
		保護者	66	30	4	0	0			
		地域住民								
生徒指導	児童一人一人にアンケートや教育相談などを実施し、全校職員が協力して、問題の早期発見・早期対応が図れている。	教職員	73	27	0	0	0	A	・困ったことを相談しにくい児童が2割いる。 ○毎月心のアンケートを実施し、個々に話を聞いているが、言いにくい児童もいるので家庭と連携して児童に寄り添った声掛けをしていく。	
		児童	58	23	11	8	0			
		保護者	52	34	4	4	6			
		地域住民	71	21	0	0	8			
基本的な生活習慣	基本的な生活習慣の育成ができてきている。	教職員	42	58	0	0	0	A	・多くの児童が「早寝・早起き・朝ご飯」ができていますが、寝る時間が遅い児童も見られる。 ・知らない人に挨拶をすることに抵抗がある児童が見られる。引き続き、日々の指導を大切にしていきたい。	【挨拶について】 ・登校指導の時に指導している。高学年の挨拶がよくできる班は、全体的に挨拶ができてきている。 ・地域の人がもっと指導をするとうよい。
		児童	52	39	8	1	0			
		保護者	45	39	16	0	0			
	進んで気持ちのよいあいさつができてきている。	教職員	42	50	8	0	0	A		
		児童	67	22	8	3	0			
		保護者	29	48	23	0	0			
進路指導	将来の夢や希望について、話したり、考えたりする機会を設けている。	教職員	30	60	10	0	0	A	・大人になってほしいことややりたい職業など将来について親子で話ができるようなキャリア教育をする。	【キャリア教育について】 ・低学年の校外学習がきっかけで、やりたい職業が見つかった児童がいる。島内では限られるが、色々な職業に触れる機会があるとよい。
		児童	66	22	9	3	0			
		保護者	32	43	23	2	0			
		地域住民								
学校安全	非常時に適切に対応できるような訓練や指導ができてきている。	教職員	55	45	0	0	0	A	・地震、津波、火事、不審者を想定した避難訓練を行った。非常時にどうすればよいかほとんどの児童が理解している。一人一人が自分の命を守るように機会あるごとに指導する。	
		児童	74	18	6	2	0			
		保護者	54	38	5	0	3			
		地域住民	71	29	0	0	0			
特別支援教育	コーディネーターを中心に、特別支援体制を整え、協力して支援している。	教職員	46	46	8	0	0	A	・全教職員で共通理解を図りながら、適切な指導ができるように努めている。また、コーディネーターを中心に相談できる体制を整えている。	
		児童								
		保護者	41	43	4	3	9			
		地域住民								
保護者・地域との連携	保護者や地域の人々とのふれあいを通して、信頼関係を確立している。	教職員	58	42	0	0	0	A	・保護者との連絡を密にし、人間関係の構築に努める。また、ホームページなどで児童の活動の様子を知らせていく。	【学校だよりについて】 ・もっと色々な場所に置き、多くの人に見てもらおうのほうか。地域の高齢者の人にも見てほしいと思う。
		児童								
		保護者	45	46	4	2	3			
	ホームページや「学校だより」「学級だより」等の内容は適切である。	教職員	67	33	0	0	0	A		
		児童								
		保護者	50	45	4	1	0			
施設設備	校舎内外の美化が充実している。	教職員	50	42	8	0	0	A	・児童は、掃除を一生懸命している。 ・夏のPTA環境整備に多くの方が参加していただき有難かった。 ○修理が必要な箇所も少しずつでも整備できるよう申請している。	
		児童	83	16	1	0	0			
		保護者	52	32	13	1	2			
		地域住民	64	36	0	0	0			